

日本雑草学会 第 60 回大会 プログラム

1. 会期

2021 年 4 月 17 日（土）一般講演，記念セミナー，記念シンポジウム，学会賞受賞者講演
4 月 18 日（日）一般講演，記念集会，静岡大会企画

2. 会場

オンライン開催

3. 日程

4 月 17 日（土）

一般講演，記念セミナー，記念シンポジウム，学会賞受賞者講演

60 回大会記念講演

講演者：Stephen Powles (University of Western Australia)

演題：Herbicides and Herbicide Resistance: Past, Present and Future.

60 回大会記念セミナー

講演者：廣岡 卓（農薬工業会）

演題：食料生産における作物保護の重要性

座長：清水 力（クミアイ化学）・杉山 稔（シンジェンタジャパン）

学会賞受賞者講演

2021 年度技術賞

受賞者：杉浦 健司，山岡 達也，伊藤 雅仁，岡林 利奈，白倉 伸一，赤藤 武一郎
（バイエルクロップサイエンス株式会社）

業績名：水稲用除草剤トリアファモンの開発

受賞者講演座長：松本 宏

2020 年度業績賞

受賞者：加藤 尚（香川大学 農学部）

業績名：イネのモミラクトン B を中心とした植物由来アレロケミカルによる抑草
力強化に関する基礎研究

受賞者講演座長：森本 正則

受賞者：春原 由香里（筑波大学 生命環境系）

業績名：植物ホルモン作用および活性酸素発生を誘導する物質の作用機序に関する研究

受賞者講演座長：岩上 哲史

4月18日（日）

一般講演，記念集会，静岡大会企画

60回大会記念集会

テーマ「近年の除草剤の開発普及状況と生物活性」

講演者：山木 義賢（公益財団法人日本植物調節剤研究協会）

演 題：近年の除草剤の開発・普及動向

講演者：岡田 善樹（DJI JAPAN 株式会社 農業ドローン推進部）

演 題：水稲除草剤散布における農業ドローンの活用状況及び今後の展望

講演者：池田 源， 定由直， 大和 誠司

（住友化学株式会社 健康・農業関連事業研究所）

演 題：水稲除草剤プロピリスルフロンの発明と開発

講演者：門谷 淳二（三井化学アグロ株式会社）

演 題：新規除草剤シクロピリモレート（サイラ®）の作用特性

静岡大会企画1

テーマ「静岡県による雑草研究および雑草対策の取組み」

オーガナイザー：市原 実（静岡県農林技術研究所茶業研究センター）

静岡大会企画2

テーマ「静岡県の高校生の研究発表」

静岡県伊豆市わさび田における植物調査（静岡県立田方農業高等学校）

不二聖心女子学院の茶草場と生物多様性（不二聖心女子学院高等学校）

静岡市内七河川におけるミクリ調査（静岡県立静岡高校）

麻機沼における絶滅危惧植物調査（静岡県立静岡高校）

葛葉の可能性に挑む ～葛のパワーを信じて～（静岡県立小笠高校）

第 60 回大会プログラム (概要版)

4月17日(土)	時間	A 会場	B 会場	C 会場
	9:00	開場		
	9:30 ~ 12:10	一般講演 除草剤 10 題	一般講演 防除・管理 10 題	一般講演 分類・生理生態・形態 10 題
	12:10 ~ 13:00	昼休み		
	13:00 ~ 15:30	記念セミナー 記念講演	閉場	閉場
	15:30 ~ 15:40	休憩		
	15:40 ~ 17:00	学会賞受賞者講演	閉場	閉場

4月18日(日)	時間	A 会場	B 会場	C 会場
	9:00	開場		
	9:30 ~ 11:55	一般講演 除草剤 9 題	一般講演 防除・管理 9 題	一般講演 アレロパシー 7 題
	11:55 ~ 13:00	昼休み		
	13:00 ~ 14:35	一般講演 利用・その他 6 題	一般講演 防除・管理 6 題	静岡大会企画 (オンデマンド) 4月25日まで視聴可能
	14:35 ~ 15:00	休憩		
15:00 ~ 17:00	60 回記念企画集会 除草剤の開発普及状況	閉場		

講演プログラム（1日目）

※発表者に○を付しています。

※講演番号の下に*が付された発表は、ベスト講演賞の選考対象（若手による発表）です。

4月17日（土）						
9:00	開場					
	A会場	座長	B会場	座長	C会場	座長
9:30	<p>ベンゾピシクロン・トリアファモン混合剤の水田畦畔侵入雑草に対する除草効果</p> <p>○倉田 康平, 金安 洋典, 山崎 明彦 (株式会社エス・ディー・エスバイオテック)</p>	大野修二 (クミアイ化学)	<p>ノビエの休眠特性を活かす有機水田の統合的雑草管理</p> <p>○岩石 真嗣¹, 津曲 徹², 三木 孝昭¹, 榊原 健太郎¹ (¹)公益財団法人 自然農法国際研究開発センター, ²株式会社 EM 研究所)</p>	青木政晴 (長野県農政課)	<p>農耕地および砂浜における外来ドクムギ属雑草の集団構造と適応度の比較</p> <p>○上平 健太郎¹, 平田 桃子¹, 下野 嘉子¹, 陶山 佳久², 松尾 歩², 佐藤 光彦², 清 多佳子³, 富永 達¹ (¹)京都大・院農学, ²東北大・院農学, ³農研機構・畜産研究部門)</p>	浅見佳世 (常葉大学)
9:45	<p>特定外来生物ナガエツルノゲイトウに対する有効除草剤の検討</p> <p>○井原 希¹, 嶺田 拓也², 吉村 泰幸³, 芝池 博幸³, 小荒井 晃¹ (¹)農研機構・中央農業研究センター, ²農研機構・農村工学研究部門, ³農研機構・農業環境変動研究センター)</p>		<p>茨城県牛久市における水稻出穂前の畦畔植生と斑点米カメシ棲息数の関係</p> <p>○野村 卓史, 榎田 重雄, 川田 文子, 溝淵 博之, 村岡 哲郎 ((公財) 日本植物調節剤研究協会)</p>		<p>静岡県の大井川上流域で50年ぶりに復活した焼畑ソバ栽培で見られる雑草種</p> <p>○稲垣 栄洋, 徳田 有美, 石関 真衣, 藤岡 伸吾 (静岡大学)</p>	
10:00	<p>新規除草剤フルロピラウキシフェンベンジルに関する研究(第3報)一オモダカに対する除草特性および塊茎産生抑制効果一</p> <p>○久池井 豊¹, 内野 彰² (¹)コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社, ²農研機構・中央農業研究センター)</p>		<p>アイガモロボ (仮称) を用いた有機米栽培システム構築のための2020年度雑草調査</p> <p>中村 哲也¹, 大川 泰一郎², 磐佐 まりな², ○藤井 義晴² (¹)有機米デザイン, ²農工大・院農学)</p>		<p>Sentinel2 衛星画像と決定木学習を用いたアレチウリ群落の検出</p> <p>○渡邊 修¹, 水口 亜樹² (¹)信大・農, ²福井県大・生物資源)</p>	
10:20	<p>新規水稻除草剤メタゾスルフロンのハロスルフロンの除草特性</p> <p>○古橋 孝将, 齊藤 直樹, 小林 弘, 佐伯 学, 矢野 哲彦 (日産化学(株))</p>	吉野康佑 (三井化学アグロ)	<p>湛水下に発生したカロライナツユクサに対する数種水稻用除草剤の作用</p> <p>○松尾 光弘¹, 樋口 翔大¹, 河野 礼紀² (¹)宮崎大農フィールド, ²大分県農林水産研究指導セ)</p>	外山祐介 (静岡農技研)	<p>大分県の低標高地におけるアレチウリの生態</p> <p>○河野 礼紀 (大分県農林水産研指水田)</p>	水口亜樹 (福井県立大学)
10:35	<p>フルセトスルフロンのクス休眠期処理による翌春萌芽抑制効果</p> <p>○猪俣 茉花, 野本 尚, 若林 利昌 (株式会社エス・ディー・エスバイオテック)</p>		<p>水稻高密度播種苗栽培における移植直後除草剤散布が移植後の生育および収量に及ぼす影響</p> <p>○三浦 恒子, 青羽 遼, 佐々木 麻衣子 (秋田県農業試験場)</p>		<p>茶園におけるヤマノイモ (<i>Dioscorea japonica</i> Thunb.) の生態</p> <p>○石渡 加純, 稲垣 栄洋 (静岡大学)</p>	
10:50	<p>ビスピリバックナトリウム塩とフルセトスルフロンの体系処理におけるクスに対する除草効果</p> <p>○鈴木 良祐, 鈴木 宏佳, 伊織 新一, 岩田 卓也 (株式会社理研グリーン)</p>		<p>青森県における農業用ドローンによる水稻一発処理除草剤「豆つぶ剤」の省力的な散布方法の確立</p> <p>○千葉 祐太¹, 小暮 篤史² (¹)青森県産業技術センター農林総合研究所, ²クミアイ化学工業株式会社)</p>		<p>ヤハズエンドウ種子の休眠覚醒および発芽深度に関する研究</p> <p>○露崎 浩, 佐藤 大輝, 藤根 裕太 (秋田県大・生物資源)</p>	

A 会場		座長	B 会場		座長	C 会場		座長
11:10	7	フェンキノトリオンの水田広葉雑草に対する除草効果 (第2報) ○竹野 駿, 上田 憲, 大野 修二 (クミアイ化学工業 (株))	32	暖地水稲乾田直播栽培における各種除草剤処理のコウキヤガラに対する防除効果 ○山口 晃 ¹⁾ , 西田 勉 ¹⁾ , 古賀 巧樹 ¹⁾ , 大隈 光善 ²⁾ (1)日本植物調節剤研究協会 福岡研究センター, 2)日本植物調節剤研究協会 九州支部)	外山 祐介	57	室戸岬海岸のモザイク環境におけるエノコログサ集団の同所的生態型 ○伊藤 松雄 (四国学院大学)	早川 宗志 (ふじのくに地球環境史ミュージアム)
11:25	8*	植物由来天然物イソホロンの誘導するレタス幼植物体での光非依存的な脂質過酸化および細胞膜損傷 ○泉 真隆 ¹⁾ , 春原 由香里 ¹⁾ , 山口 拓也 ¹⁾ , 藤井 義晴 ²⁾ , 松本 宏 ¹⁾ (1)筑波大学, 2)東京農工大学)	33*	静岡県内の有機茶園と慣行茶園における雑草植生 ○市原 実 ¹⁾ , 内山 道春 ¹⁾ , 村上 源太 ²⁾ , 山下 雅幸 ²⁾ , 澤田 均 ²⁾ (1)静岡農林技研・茶研セ, 2)静岡大・農)	内山 道春 (静岡茶研セ)	58	同所的に生育するオオブタクサとブタクサの個葉に対する光合成特性の比較 ○渡邊 修, 早出 奈央 (信大・農)	
11:40	9*	愛知県の水稲乾田直播栽培におけるシハロホップブチル抵抗性ノビエに有効な除草剤の検討 ○柏木 啓佑 ¹⁾ , 尾賀 俊哉 ¹⁾ , 伊藤 真 ²⁾ , 伊藤 晃 ¹⁾ (1)愛知県農業総合試験場, 2)愛知県農業水産局農政部農業経営課)	34*	有機茶園と慣行茶園における種子食昆虫による雑草種子捕食 ○市原 実 ¹⁾ , 村上 源太 ²⁾ , 山下 雅幸 ²⁾ , 澤田 均 ²⁾ , 内山 道春 ¹⁾ (1)静岡農林技研・茶研セ, 2)静岡大・農)		59*	ピロードモウズイカ (<i>Verbascum thapsus</i>) のSDモデルの構築 ○大久保 天地, 渡邊 修 (信州大・農)	
11:55	10*	オモダカの集団遺伝構造とスルホニルウレア系除草剤抵抗性機構の地理的分布 ○一箭 翼 ¹⁾ , 岩上 哲史 ¹⁾ , 大川 茂範 ²⁾ , 志賀 隆 ³⁾ , 内野 彰 ⁴⁾ , 富永 達 ¹⁾ , 下野 嘉子 ¹⁾ (1)京都大学, 2)宮城県古川農業試験場, 3)新潟大学, 4)農研機構)	35	敷き藁栽培が茶園の種子食昆虫に及ぼす影響 ○稲垣 栄洋, 猿田 悠人 (静岡大学)		60*	シュートを巻く処理がヤブガラシ (<i>Cayratia japonica</i> (Thunb.) Gagn.) の地上部の再生に及ぼす影響 ○田中 聡, 田中 惣, 田中 勝大 (東京農業大学 地域環境科学部 造園科学科)	
昼休み								
13:00	【60回大会記念セミナー】 食料生産における作物保護の重要性 廣岡 卓 (農薬工業会)		閉場		閉場			
14:00	【60回大会記念講演】 Herbicides and Herbicide Resistance: Past, Present and Future. Emeritus Professor Stephen Powles (University of Western Australia) 座長: 清水力 (クミアイ化学) 杉山稔 (シンジェンタジャパン)							
休憩 (10分)								
15:40	学会賞受賞者講演		閉場		閉場			
17:00	1日目終了							

A 会場		座長	B 会場		座長	C 会場		座長
11:10	17	十分な湛水条件下での数種ピラクロニル含有フロアブル剤の水口施用と短時間入水 ○徐 錫元, 中村 竜, 早山 智博, 土井 康一, 西原 良一, 柳澤 計雅, 税田 武衛, 清水 裕一(協友アグリ)	42	* 耕起前, 播種後出芽前およびコムギ生育初期の除草剤体系処理によるコムギ作のネズミムギ防除効果 ○外山 祐介 ¹⁾ , 亀山 忠 ¹⁾ , 宮田 祐二 ²⁾ (¹⁾ 静岡県農林技術研究所, ²⁾ 静岡県中遠農林事務所)	67	* メタセコイア新鮮葉に含まれるアレロパシー候補物質の探索 ○松本 夏歩, 坂本 千都, 加藤 尚 (香川大・院農学)	春原由香里	
11:25	18	* 水稻高密度播種苗の苗質と移植後の生育及び水稲除草剤に対する反応における慣行苗との差異 ○古山 千恵, 金久保 秀輝, 濱村 謙史朗 (植調研究所)	43	* 温暖地のダイズ狭畦栽培におけるイマザモックスアンモニウム塩を導入したマルバアメリカアサガオの防除 ○浅見 秀則 ^{1,2)} , 橘 雅明 ¹⁾ , 本間 香貴 ²⁾ (¹⁾ 農研機構・西日本農業研究センター, ²⁾ 東北大学・農)	【静岡大会企画集会】(オンデマンド) ※内容は、13:00 の欄をご覧ください。 ※オンデマンドは、4月25日(日)まで、いつでも視聴が可能です。			
11:40	19	新規とうもろこし用除草剤トルピラレートフロアブルに関する研究(第8報) アトラジン水和剤との混用散布による食用とうもろこしに対する安全性 ○菅沼 丈人, 小林 庸輔, 福田 将太, 佐竹 良和, 菊川 弘司, 佐野 真喜子 (石原産業株式会社)	44	* ムギ作難防除雑草カラスムギを効果的に抑える管理シナリオはどれか: 簡易観測データを利用して予測する ○松橋 彩衣子 ¹⁾ , 深澤 圭太 ²⁾ , 浅井 元朗 ¹⁾ (¹⁾ 農研機構, ²⁾ 国立環境研究所)				
大川茂範(宮城古川農試)								
高野浩(静岡畜技研)								
三浦励一(龍谷大学)								
山下雅幸(静岡大学)								
昼休み								
13:00	20	* フトイ (<i>Scirpus tabernaemontani</i>) の水質浄化能力の系統間差異 ○野寄 友香, 稲垣 栄洋(静岡大学)	45	沖縄県宮古島のサトウキビ圃場に発生するカワリバトウダイ (<i>Euphorbia graminea</i> Jacq.) の栄養繁殖特性と体系防除に関する検討 ○平良 秀平 ¹⁾ , 安斎 達雄 ²⁾ , 竹内 崇 ³⁾ , 赤嶺 達也 ⁴⁾ , 早川 伸一 ³⁾ , 儀間 靖 ¹⁾ , 砂川 喜信 ¹⁾ (¹⁾ 沖縄県農林水産部農業研究センター宮古島支所, ²⁾ 保土谷 UPL 株式会社, ³⁾ 北興化学工業株式会社, ⁴⁾ 第一農業株式会社)	【静岡大会企画 1】(オンデマンド) 静岡県による雑草研究および雑草対策の取組み オーガナイザー: 市原 実(静岡農林技研・茶研セ) 【静岡大会企画 2】(オンデマンド) 静岡県の高校生の研究発表 静岡県伊豆市わさび田における植物調査(静岡県立田方農業高等学校) 不二聖心女子学院の茶草場と生物多様性(不二聖心女子学院高等学校) 静岡市内七河川におけるミクリ調査(静岡県立静岡高校) 麻機沼における絶滅危惧植物調査(静岡県立静岡高校) 葛葉の可能性に挑む ~葛のパワーを信じて~ (静岡県立小笠高校)			
13:15	21	* タカサゴユリおよびヒメタカサゴユリを育種親とした鉢物用品種の育成と園芸的利用 ○瀬岡 咲葉, 稲垣 栄洋(静岡大学)	46	播種日が異なる大豆2品種の栽培圃場におけるマルバアメリカアサガオとマルバルコウの生育進展 ○星 風吹, 淵澤 美聡, 黒川 理稀, 横川 貴之, 小木曾 優紀, 小林 浩幸 (宇都宮大 雑草と里山の科学教育研究センター)				
13:30	22	ハハコグサ花の抗炎症成分の分析および健康機能性着色米飯の開発への利用 ○吉岡 俊人 ¹⁾ , 原 悠太 ²⁾ , 宇佐美 元気 ³⁾ , 上見 湧輔 ²⁾ , 内田 晴哉 ²⁾ , 高橋 正和 ²⁾ (¹⁾ 新潟食料農業大学・食料産業学部, ²⁾ 福井県立大学・生物資源学部, ³⁾ 福井県立福井農林高等学校)	47	秋耕とその後の土壌処理剤処理時期がスギナの防除効果に及ぼす影響 ○浅井 元朗 (農研機構)				

A 会場		座長	B 会場		座長	C 会場		座長
13:50	23 * 竹炭のアンモニウムイオン吸着能とその測定上の問題 ○伊藤 奈緒, 南雲 俊之, 稲垣 栄洋 (静岡大学)	瀬岡咲葉 (静岡大学)	48	塩素酸塩粒剤の秋冬期処理時期, 処理量がスギナの防除効果に及ぼす影響 ○浅井 元朗 ¹⁾ , 大谷 肇 ²⁾ (1)農研機構, 2)エス・ディー・エスパイオテック)	飛奈宏幸 (日本農業)	【静岡大会企画集会】(オンデマンド) ※内容は、13:00 の欄をご覧ください。 ※オンデマンドは、4月25日(日)まで、いつでも視聴が可能です。		
14:05	24 * モデル植物としてのムラサキエノコログサの評価とアントシアニン発色の遺伝性 ○伊藤 奈緒, 榊原 拓海, 稲垣 栄洋 (静岡大学)		49	スギナ優占露地キク圃場における塩素酸塩粒剤秋冬期処理がスギナ防除およびキク生育に及ぼす影響 ○浅井 元朗 ¹⁾ , 大谷 肇 ²⁾ (1)農研機構, 2)エス・ディー・エスパイオテック)				
14:20	25 雑草を用いた理科・生物学の教材作り ○露崎 浩 ¹⁾ , 小野 未来 ²⁾ (1)秋田県大・生物資源, 2)大潟村在住)		50	農業場面における芝刈ロボットの除草利用に適した作業面積および他の除草方法との併用に関する検討 ○好野 奈美子, 金井 源太 (農研機構東北農業研究センター)				
休憩 (25分)								
15:00	【第60回大会記念企画集会】 近年の除草剤の開発普及状況と生物活性		閉場					
17:00	2日目終了							

日本雑草学会 第 60 回大会 運営委員会

大会運営委員長	稲垣栄洋 (静岡大学)
大会幹事	山下雅幸 (静岡大学)
運営委員	浅見佳世 (常葉大学)
	市原 実 (静岡県農林技術研究所茶業研究センター)
	内山道春 (静岡県農林技術研究所茶業研究センター)
	清水 力 (クミアイ化学株式会社)
	杉山 稔 (シンジェンタジャパン株式会社)
	高野 浩 (静岡県畜産技術研究所)
	外山祐介 (静岡県農林技術研究所)
	早川宗志 (ふじのくに地球環境史ミュージアム)
大会関係庶務幹事	松尾光弘 (宮崎大学)

60 周年事業実行委員会

	伊藤晴通 (日本植物調節剤研究協会 神奈川試験地)
	大野修二 (クミアイ化学株式会社)
	白水健太郎 (科研製薬株式会社)
	山田茂雄 (日本曹達株式会社 小田原研究所)
	柳澤大介 (エフエムシー・ケミカルズ株式会社)
協力	中嶋佳貴 (岡山大学)
	好野奈美子 (農研機構 東北農業研究センター)
	渡邊 修 (信州大学)

(五十音順)

協賛	農薬工業会
広告協賛	株式会社エス・ディー・エス バイオテック
	エフエムシー・ケミカルズ株式会社
	協友アグリ株式会社
	住友化学株式会社
	全国農村教育協会
	日産化学株式会社
	三井化学アグロ株式会社
	石原バイオサイエンス株式会社
	日本曹達株式会社
	日本農薬株式会社
	バイエル クロップサイエンス株式会社
	B A S F ジャパン株式会社
大会賛助	クミアイ化学工業株式会社